

佐賀県研究成果情報（作成 2026 年 2 月）

[情報名] 夏期高温環境下でも開花遅延しない赤色系の夏秋スプレーギク「佐賀 SK38 号」および「佐賀 SK40 号」の育成

[要約] 赤紫色の夏秋スプレーギク「佐賀 SK38 号」および淡桃色の「佐賀 SK40 号」は、夏期の高温環境下においても開花遅延が少なく高温耐性に優れ、7 月から 10 月上旬までの開花作型における電照抑制栽培に適用可能である。

[キーワード] スプレーギク、高温耐性、電照抑制栽培、開花遅延

[担当] 農業試験研究センター 野菜・花き部 花き研究担当

[連絡先] 0952-45-2143・nougyoushikensenta@pref.saga.lg.jp

[分類] 技術者参考

[部会名] 花き

[専門] 育種

[背景・ねらい]

佐賀県の花き栽培において、キクは栽培面積および生産者数が第 1 位の最重要品目である。その用途の多様化や栽培が容易な点から、スプレーギクの生産が徐々に増加している。しかし、近年の夏期の高温により開花遅延が発生し、計画生産に影響を及ぼしており、上記の環境に適する電照抑制栽培が可能な夏秋スプレーギクの品種が限られている。こうしたことから、高温耐性を有し、電照抑制栽培が容易な黄色の夏秋スプレーギク品種「佐賀 SK36 号」および「佐賀 SK37 号」を育成した。

スプレーギクでは花色のバリエーションが必要なことから、赤色系の品種を育成する。

[成果の内容]

1. 「佐賀 SK38 号」および「佐賀 SK40 号」は、当センター育成で高温耐性を有する桃色のスプレーギク系統「25-Z-407」を種子親、赤色の小ギク品種「花果実」を花粉親として、2017 年に交雑して得られた実生個体から選抜した品種である。
2. 両品種ともに花形は半八重咲きであり、花弁の色は「佐賀 SK38 号」が赤紫色（RHS カラーチャート Red-Purple N57B）、「佐賀 SK40 号」は淡桃色（同 Red-Purple 68D）である（図 1）。
3. 両品種は、夏期の高温環境下において電照消灯から 8 週間程度で安定して開花し開花遅延は少なく、7 月から 10 月上旬までの開花作型における電照抑制栽培に適用できる（表 1 および表 2）。

[成果の活用面・留意点]

1. 本成果は、下記の点に留意しながら 7 月から 10 月上旬までの開花作型において活用できる。
2. 「佐賀 SK38 号」は電照消灯後の高温の影響によって貫生花が発生し切り花品質が低下するため、8 月開花作型を避けるなどの対策が必要である。
3. 「佐賀 SK40 号」は主に 8 月開花作型で高温により花色が淡くなるため、ハウス内の下温対策に努めるよう注意が必要である。
4. 両品種の自然開花期は 5 月下旬である（データ略）。
5. 本試験は、佐賀県農業試験研究センター内の無加温ビニルハウス（6m間口、灰色低地土）で行った。

[具体的なデータ]



図1 夏秋スプレーギク品種「佐賀SK38号」(A)および「佐賀SK40号」(B)

表1 各開花作型における「佐賀SK38号」および「佐賀SK40号」の開花特性

作型 ^z (試験年)	挿し芽	定植	摘心	消灯日	品種名	平均 開花日	到花 ^y 日数 (日)	切り花 長 (cm)	80cm ^x 調整重 (g)	奇形花 ^v 発生 程度
7月開花 (2020)	3月12日	3月30日	4月9日	5月19日	佐賀SK38号	7月8日	50	115.2	65.3	0.0
					佐賀SK40号	7月6日	48	108.8	65.1	0.0
8月開花 (2020)	4月9日	4月28日	5月12日	6月16日	佐賀SK38号	8月6日	51	126.5	52.2	0.0
					佐賀SK40号	8月5日	50	114.3	68.0	0.0
9月開花 (2020)	5月15日	6月2日	6月11日	7月21日	佐賀SK38号	9月10日	51	111.8	59.4	0.0
					佐賀SK40号	9月7日	48	100.4	64.4	0.0
10月開花 (2021)	6月18日	7月5日	7月15日	8月19日	佐賀SK38号	10月4日	46	108.5	60.9 ^w	0.0
					佐賀SK40号	10月6日	48	90.3	45.1 ^w	0.0

^z7月開花作型における電照消灯後50日間の平均最低気温(農業試験研究センター本場):19.8℃

^z8月開花作型における電照消灯後50日間の平均最低気温(農業試験研究センター本場):22.5℃

^z9月開花作型における電照消灯後50日間の平均最低気温(農業試験研究センター本場):24.8℃

^z10月開花作型における電照消灯後50日間の平均最低気温(農業試験研究センター本場):21.7℃

^y電照消灯から開花までに要した日数

^x切り花を長さ80cmにカットして下葉を30cm除去した時の重量

^w10月開花作型は85cm調整重のデータ

^v奇形花の程度:0(無)、1(軽)、2(中)、3(甚)

表2 8月上旬開花作型^zにおける「佐賀SK38号」および「佐賀SK40号」の開花特性

品種	試験年	消灯時 草丈 (cm)	平均 開花日	到花 日数 (日)	切り花 長 (cm)	葉数 (枚)	一次 分枝数	総花蕾 数 (個)	花径 (cm)	茎径 (mm)	85cm 調整重 (g)	フォー ^y メー ション	奇形花 発生 程度
佐賀SK38号	2024	38.5	8月11日	58	98.7	37.5	8.8	10.5	4.7	4.6	41.6	A,B,C	0.0
	2025	34.8	8月3日	60	94.2	31.9	7.3	10.4	4.2	4.6	38.1	A,B,C	2.7
佐賀SK40号	2024	32.8	8月6日	53	88.9	37.5	9.8	10.8	4.2	4.7	43.0	A	0.0
	2025	35.7	7月26日	52	92.5	33.6	9.4	11.8	3.8	4.5	36.3	A,B,C	0.0
セイレウカ (対照)	2024	42.1	8月20日	67	109.0	34.1	7.3	8.5	3.7	6.2	59.1	A	0.0
	2025	40.2	8月2日	59	115.0	30.6	7.7	8.7	4.8	6.2	57.3	A	0.0

^z直挿し:2024年5月1日、摘心:5月14日、電照消灯:6月14日、電照消灯後50日間の平均最低気温(農業試験研究センター本場):24.5℃

^z直挿し:2025年4月17日、摘心:5月8日、電照消灯:6月4日、電照消灯後50日間の平均最低気温(農業試験研究センター本場):23.3℃

^yスプレーギクの花序の形態(図2を参照)

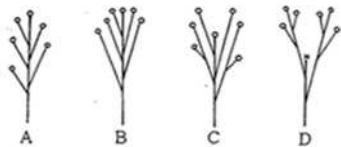


図2 スプレーギクのフォーメーション

[その他]

研究課題名: 花き産地拡大のための県オリジナルの新品種等の育成及び栽培技術確立

予算区分: 県単

研究期間: 2020年度~2024年度

研究担当者: 坂本健一郎、中島治、松崎颯大、大坪亜希子、仲原芳美、宮崎雄太(原稿執筆者)

発表論文等: 園芸学会令和8年度春季大会 ポスター発表